

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)

【公表番号】特表 2006-501506 (P2006-501506A)

【公表日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)

【年通号数】公開・登録公報 2006-002

【出願番号】特願 2004-540807 (P2004-540807)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/16 (2006.01)

B 0 5 D 7/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

B 4 1 N 1/14 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/38 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/16

B 0 5 D 7/00 A

B 0 5 D 7/24 3 0 2 S

B 4 1 N 1/14

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/004 5 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/38 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 12 日 (2006.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) 親水性表面を有するリトグラフ支持体のウェブ提供すること、

(i i) ウェブの親水性表面上にフェノール樹脂を含んで成る被膜を適用すること、

(i i i) 被覆されたウェブに熱を供給することにより被膜を乾燥すること、

(i v) ウェブが外界条件下に維持されるであろう速度より高いが 3 0 / 秒より高くはない平均冷却速度でウェブ温度が低下される、積極的冷却段階、

(v) コア上に前駆物質を巻くか、もしくは前駆物質をシートに切断すること、の段階を含んで成る感熱性リトグラフ印刷版前駆物質の製法。

【請求項 2】

平均冷却速度が 2 0 / 秒より高くはない請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

冷却段階の開始時に、ウェブ温度がフェノール樹脂を含んで成る被膜のガラス転移温度、 T_g より高く、そして冷却段階中に、ウェブ温度が 1 0 / 秒より低い平均冷却速度で T_1 から T_2 に低下され、ここで T_1 は T_g より高く、 T_2 は T_g より低い請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

冷却段階中に、ウェブ温度が

- 第 1 相において、少なくとも 10 / 秒の平均冷却速度で T 1 に、
- 第 2 相において、10 / 秒より低い平均冷却速度で T 1 から T 2 に、

低下される請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

冷却段階中に、ウェブ温度が

- 第 1 相において、少なくとも 10 / 秒の平均冷却速度で T 1 に、
- 第 2 相において、10 / 秒より低い平均冷却速度で T 1 から T 2 に、そして
- 第 3 相において、少なくとも 10 / 秒の平均冷却速度で T 2 からほぼ外界温度に、

低下される請求項 3 に記載の方法。